

開催行事報告



献具の儀のひとこま



お身拭いのタオルが配られました



法話をされるご住職

八百三十年以上の長きにわたり、ご先祖様が手を合わせ、心を通わせてきた御本尊「阿弥陀如来三尊仏」が開帳され、お身を拭う沐浴式が安本由道ご住職式師のもと厳かに挙行されました。式では蜜湯、お菓子、香り高いお茶を差し上げ、献具の儀が行われ、皆様のご健勝、子孫繁栄を祈りました。ご住職は法話のなかで「ご先祖様あつての命です。仏様を信じ、仏様の教えを実践し、仏様に感謝する『動の坐禅』は、あとに続く人たちのためのものです」と話されました。

御本尊に相見する貴重な日

※相見…会うこと。対面すること。

本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳
令和元年12月14日（土）

萬福寺するすみ祭実行委員会

大田区へ「するすみ祭」売上金の一部を寄付

令和元年12月4日（水）／大田区長室



（右から）鈴木区議、高瀬区議、伊藤企画委員長、松原区長、ご住職、河原清彦会長、河原良助総務委員長、丹野社長（大田区役所・区長室で）

この日、大田区役所を訪問し10月6日に開催した「するすみ祭」でのチャリティ販売の売上金の一部を大田区に寄付しました。安本由道ご住職はじめ萬福寺護持会から河原清彦会長、河原良助総務委員長、伊藤一也企画委員長、梶原殿運営スタッフを代表して丹野浩成JA東京中央セレモニースタッフ社長が区長室に松原忠義区長を訪ね、「社会福祉にお役立て下さい」と手渡しました。鈴木隆之区議会議員、高瀬三徳区議会議員も同席しました。